

第 5 回 南相馬市地域包括ケアシステム推進会議 会議録

- 1 日 時 平成 28 年 1 月 14 日 (木) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分
- 2 場 所 南相馬市役所 2 階正庁
- 3 出席者 委員 18 名 オブザーバー 1 名 傍聴者 3 名 事務局 8 名
- 4 会長挨拶 南相馬市健康福祉部長
- 5 議 事 (講 義)
- (1) 地域包括ケアシステムに係る医療と介護の連携について 等 資料 1
講師：公立大学法人 福島県立医科大学
医学部 地域・家庭医療学講座 主任教授 葛西龍樹 氏

7 議事の概要

- (1) 地域包括ケアシステムに係る医療と介護の連携について 等
- 厚生労働省が示す地域包括ケアシステム構築への取組みにおいて、「プライマリ・ケアを整備する」という視点も加えるとよりよいのではないか。
 - プライマリ・ケアとは、患者中心に病気や健康問題を解決するだけでなく、医療・介護の適正利用や予防、健康維持・増進においても、各種サービスと連携する調整のハブ機能を持ち、家族と地域の実情と効率性を考慮して提供されるサービスのこと。
 - 実際には、プライマリ・ケアは地域にいる多職種専門職で構成されるチームによって実践され、そのチームで働く医師が「家庭医」と呼ばれる専門医。
 - 日本では、平成 29 年度から「総合診療専門医」が養成されることとなった。
 - 費用をかけなくても質の高い医療・介護が提供される国（キューバ等）を参考にすべき。
 - 今後プライマリ・ケアを定着させていくためには、「総合診療専門医」の教育プログラムのフィールドとなるような取り組みが重要。
- (2) その他
- 第 4 回地域包括ケアシステム推進会議の会議録について、各委員の確認後、概要版を市ホームページに会議配布資料と合わせて掲載する。

※ 次回は、地域医療連携関係の方から、退院支援等の現状と課題についての説明や、個別地域ケア会議での協議結果の報告等を予定することとし閉会。